

「改革を進める別府市議会」のサポート役

事務職



甲斐 健太郎(平成16年度採用)

議会事務局

議事係の一員として、本会議の書類の作成、議場のカメラやマイクの操作をはじめとした議事運営業務全般を担当しています。また、常任委員会の書記として、委員会の次第や会議録の作成、委員会の行う他の自治体への視察の準備等の業務を行っています。

これまで携わった仕事

採用後最初に配属された社会福祉課では、生活保護のケースワーカーを2年間経験しました。

次に配属された総務課には7年間在籍し、主に条例の制定改廃に関する事務、別府市の抱える訴訟に関する事務等の法律関係事務を担当しました。うち2年間は、人事交流制度により大分県法務室に出向する機会に恵まれ、法律事務を基礎から学ぶことができました。

平成16年4月 社会福祉課
平成18年4月 総務課
平成25年4月 議会事務局

新人時代の思い出

仕事では、生活保護のケースワーカーという業務の性質上、様々な事情を抱えた方とやりとりをする機会が多く、右往左往しながら対応していました。

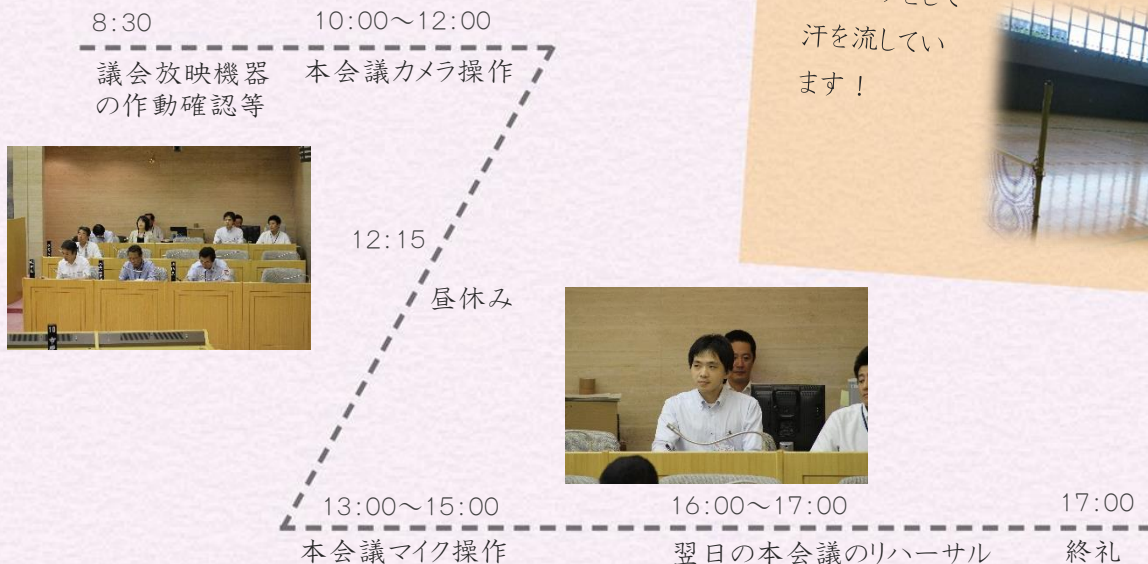
プライベートでは、我が家(アパート)が同期の交流の場と化しており、毎週集まっては夜を徹して意見交換して(飲んで!?)いました。

仕事のやりがいなど

本会議はトラブルなく終わることが当たり前なので、書類等の不備や、カメラやマイクの操作に間違いがないよう、本会議前は議会事務局職員全員で入念にリハーサルをして臨むのですが、それでも本番は不安な気持ちで迎えます。

それだけに、本会議最終日を無事に終えたときに感じる安堵感と達成感は格別です。

ある1日のスケジュール



プライベート

毎週1回程度、主に市役所職員からなるグループで、スポンジボールテニスというスポーツをして汗を流します！

